

2. 建築計画

1. 設計趣旨

歴史と文化を継承し、新たな景観を生み出す地域交流拠点のシンボル

薩摩川内市の街並みにふさわしく歴史や文化を感じさせながらも躍動感ある外観とし、人々の暮らしに多くの恵みをもたらした川内川のように川内駅への新たな人の流れを誘引し、様々な交流と活動を生み出す交流拠点として地域をリードするランドマークを施設コンセプトとしています。

○人々の拠り所となる多様な集いの場所
市民の新しい活動拠点として、多様な集いの場所を創出します。コンベンションホールや、会議室、交流サロンなど、人が集まり活動する場を複合的に計画します。

○立地を生かした賑わい拠点
鹿児島県の主要な駅の一つの川内駅に面している立地を生かし、川内駅前から流れる新たな人の流れを誘引することで、様々な交流と活動が生まれる魅力的な賑わい拠点をつくります。民間収益施設の計画も本施設と連動していくように配慮します。

○コンベンション機能を核とした複合的な拠点施設
都市のコンパクト化に資する新たな核を生み出し、観光をはじめとする産業分野等での事業活動を誘発するコンベンション機能を核とした複合的な拠点施設を整備します。

2. 計画概要

主要用途 : 多目的ホール、会議室、交流センター、こども施設 等
建築場所 : 鹿児島県薩摩川内市平佐1丁目18番地
敷地面積 : 8185.10㎡
建築面積 : 2788㎡
延床面積 : 5,915㎡
構造・規模・高さ : RC+S造/地上4階/25.2m



南西鳥瞰



西側正面



ホール内観



1階各支援機能オープンスペース

3. 面積表

		1階	2階	3階	4階
計	5,900㎡	2,200㎡	2,380㎡	1,300㎡	25㎡
ホール	1,330㎡	0㎡	1,100㎡	230㎡	0㎡
会議室機能	850㎡	75㎡	100㎡	670㎡	0㎡
交流支援機能	880㎡	730㎡	150㎡	0㎡	0㎡
産業支援機能	170㎡	170㎡	0㎡	0㎡	0㎡
こども支援機能	370㎡	370㎡	0㎡	0㎡	0㎡
その他	2,305㎡	855㎡	1,025㎡	400㎡	25㎡

4. 関係法令

主な届出

- ・ 確認申請書
- ・ 営業許可申請書
- ・ 建築計画届出書
- ・ 景観計画区域内行為届出書

関係法令

- ・ 建築基準法
- ・ 都市計画法
- ・ 消防法
- ・ 興行場法
- ・ 道路交通法
- ・ 食品衛生法
- ・ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管理法）
- ・ バリアフリー法
- ・ 鹿児島県建築基準法施行条例
- ・ 鹿児島県福祉のまちづくり条例
- ・ 鹿児島県火災予防条例
- ・ 薩摩川内市建築基準法施行条例細則
- ・ 薩摩川内市環境保全条例
- ・ 薩摩川内市土地利用対策要綱に関する運用基準
- ・ 建築物等の建築に係る住環境保全に関する指導要綱
- ・ 景観形成基準（薩摩川内市景観ガイドライン）

2. 建築計画

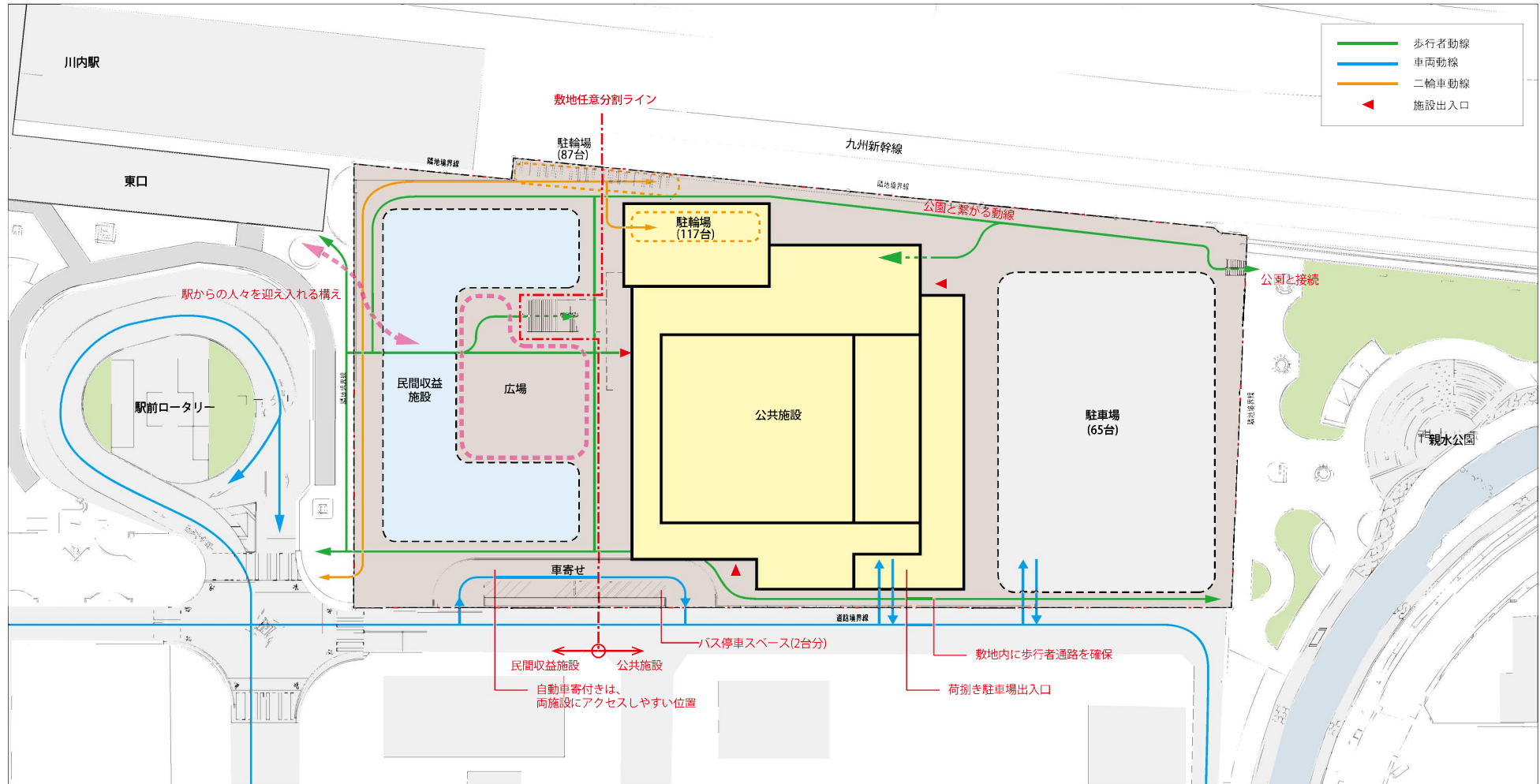
5. 諸官庁協議チェックシート

確認事項(関連法規)	該当基準	該当・非該当	対応・時期				提出書類	窓口			備考
			事前協議	申請/届出	完了時	備考		担当課	担当者	TEL	
興行場法(営業許可)	興行場(映画・演劇・音楽・スポーツ・演芸又は見せ物を公衆に見せ、又は間かせる施設)を営もうとするとき	○	-	○ 開業2W前	○ 完了検査	-	営業許可申請書及び添付書類	北薩地域振興局保健福祉環境部衛生・環境課環境係(川薩保健所)	-	0996-23-3167	興業場法の解釈等にかかる協議は、鹿児島県保健福祉部生活衛生課が窓口になる。
建築物における衛生的環境の確保に関する法律(ビル管理法)	特定建築物の特定用途(興行場に該当)の面積が3,000㎡以上の建築物が該当	○	○	○ 使用開始日から1ヶ月以内	-	-	構造設備概要書、案内図、配置図、空調和設備系統図及びダクト配管図、給排水設備系統図、主要機器一覧表他	北薩地域振興局保健福祉環境部衛生・環境課環境係(川薩保健所)	-	0996-23-3167	
厨房/パントリー(食品衛生法)	飲食店等のように、公衆衛生に与える影響が著しい営業を営む場合	△	○	-	-	-	-	北薩地域振興局保健福祉環境部衛生・環境課食品衛生係(川薩保健所)	-	0996-23-3167	
駐車場出入口(道路交通法)	駐車場の用に供する部分の面積が500㎡以上の駐車場に適用	○	○	-	-	-	-	薩摩川内警察署	-	0996-20-0110	
J R (鉄道近接調査)	JR敷地と近接する敷地で調査をする場合	○	○	-	-	-	-	川内新幹線工務室	伊藤氏	0996-20-7538	敷地測量による、境界確認及び敷地内ボーリング調査による協議
J R (鉄道近接工事)	JR敷地と近接する敷地で工事をする場合	○	○	-	-	-	必要により、発注者、施工会社、JRの三者で、事故防止に対する覚書を取り交わす。	熊本新幹線工務所	-	096-354-7800	建設工事に伴う協議
建築物等の建築に係る住環境保全に関する指導要綱	商業地域内:高さが15M超及び階数が5以上のもの(地階を除く階数)	○	○	○ 確認申請前	-	-	近隣住民説明(告知板設置から2週間後)	建設部 建築住宅課 建築指導グループ	-	0996-23-5111	告知板の設置:近隣住民等に対する説明を開始する予定日の2週間前から工事完了までの期間
景観形成基準(薩摩川内市景観ガイドライン)	商業地域内:高さが15M超及び階数が5以上のもの(地階を除く階数)	○	○	○ 工事着手日から1ヶ月前まで	-	-	景観計画区域内行為届出書、景観形成基準適合チェックリスト他	都市計画課 景観グループ	-	0996-23-5111	
薩摩川内市土地利用協議(薩摩川内市土地利用対策要綱に関する運用基準)	1,000㎡以上の土地開発	×	○	×	○ 確認申請約1.5カ月前	-	土地利用協議書、排水計画(雨水流量計算書)、境界画定調査、工事施工承認書他	都市計画課 都市計画グループ	森永氏	0996-23-5111	公共施設である為、該当しない。
都市計画法に基づく開発許可	3,000㎡以上の開発行為(都市計画区域内)	×	○	×	○ 確認申請前	-	土地利用協議書、排水計画(雨水流量計算書)、境界画定調査、工事施工承認書他	鹿児島県土木部建築課 観察指導係	假屋氏	099-286-2111(内線3739)	3/28提示計画図に基づき協議の結果、開発行為には該当しない。

2. 建築計画

■ 計画のポイント

- ・駅前ロータリーに面して屋外広場を設え、大きな容積のある本施設は敷地中央部に配置することで、駅前エリアへの圧迫感を緩和しながら、敷地正面から人々を迎え入れるような構えとします。
- ・駅前ロータリー側には歩行者動線、敷地東側には車輛の寄付きと駐車場を設けることで、歩車分離を明確にした安全な施設配置とします。
- ・駅前から広場、広場から計画施設、計画施設から敷地北側親水公園へとつながる動線を確保し、新たな人の流れを駅前に作ります。

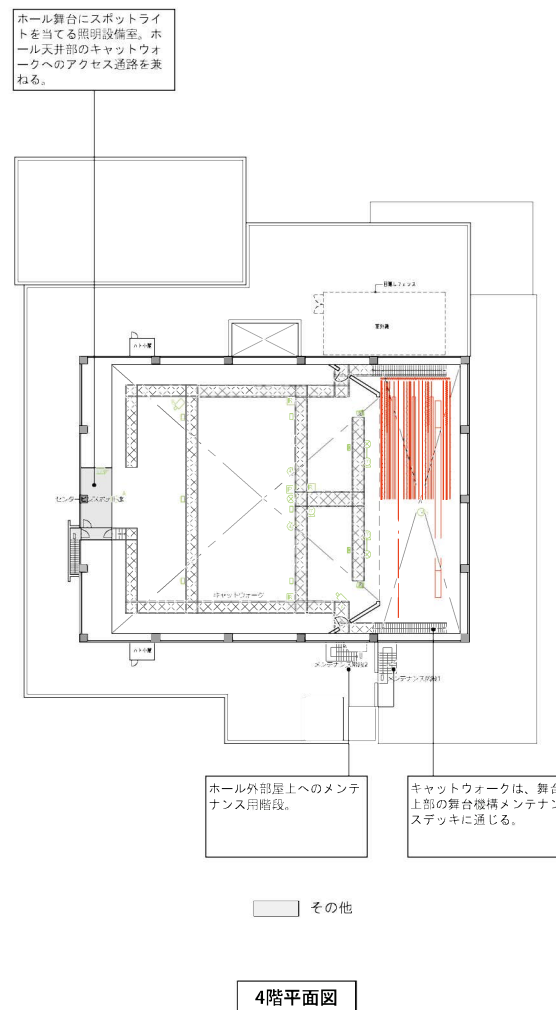
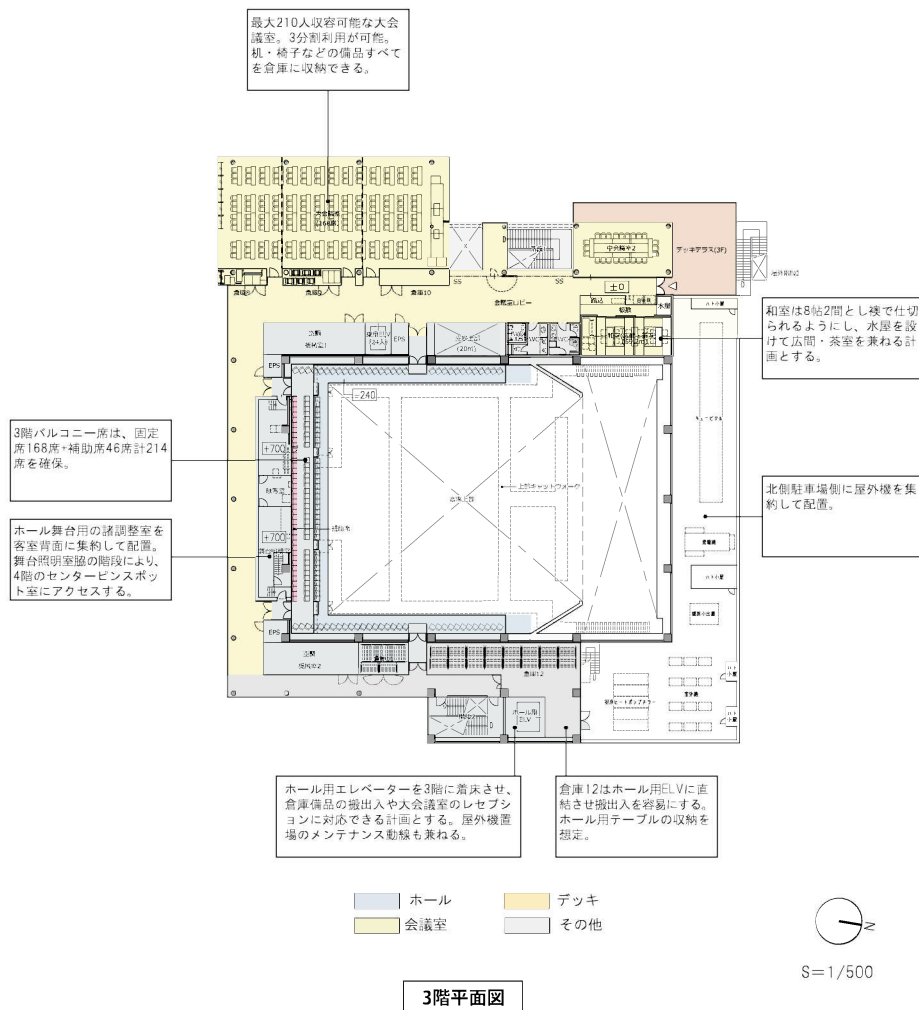


2. 建築計画

I 計画のポイント

- ①3階には、最大210名収容可能な大会議室や中会議室・和室等の会議機能を配置します。
- ②ホールバルコニー席を設置し、ロールバックチェアと一体の観覧席となる計画とします。
- ③屋外機置場を集約し、効率的な機器配置とします。

- ①4階にはセンターピンスポット室、キャットウォーク等を設けます。
- ②音響・照明設備をキャットウォークに設置し維持管理を容易にし、また持ち込みの照明器具を設置できるようにし、演出の幅を広げます。

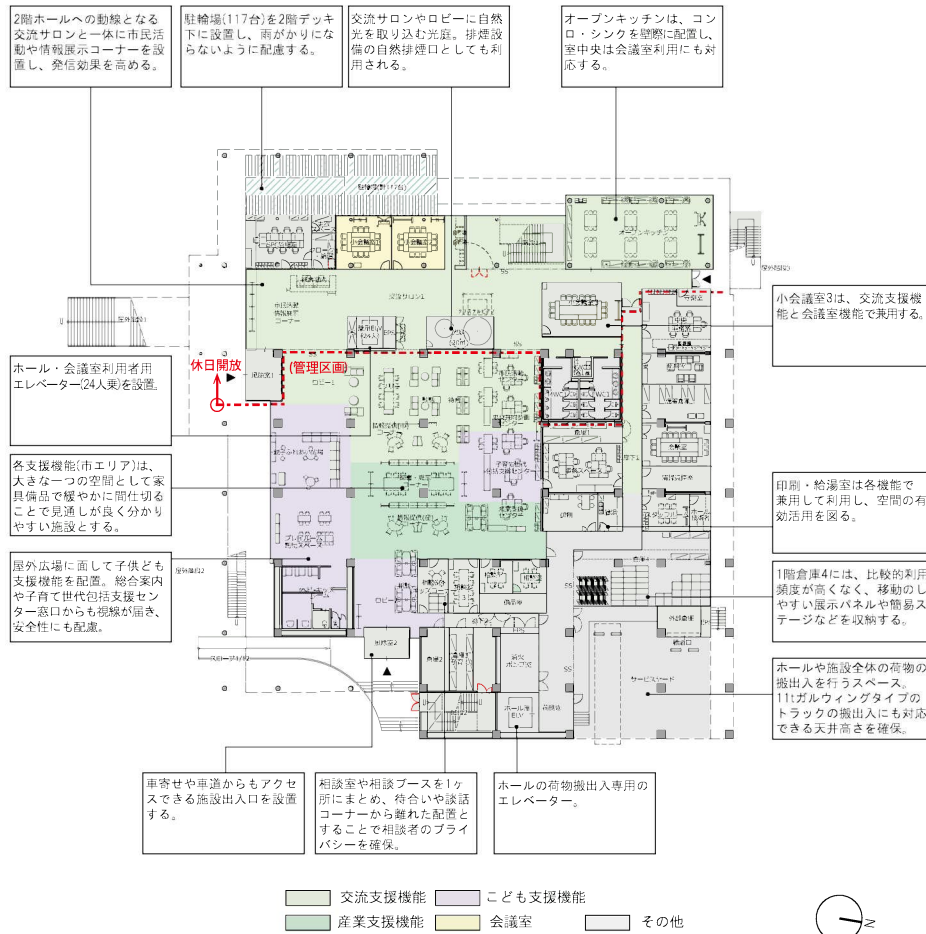


2. 建築計画

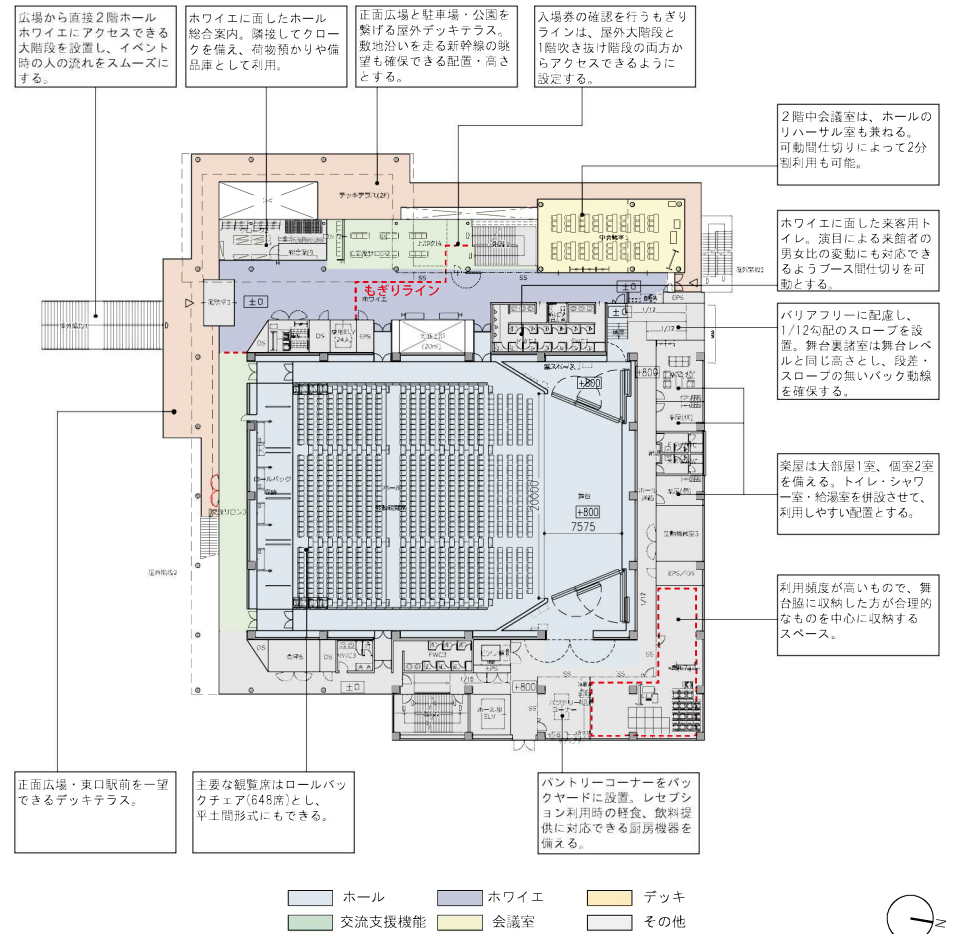
I 計画のポイント

- ①1階には駅側の広場に面して市民利用エリアを配置して、広場からも視認性が良く来館しやすい設えとします。東側道路からもアクセスできる計画とします。
- ②市民の利用頻度の高い各支援機能を集約し、一室空間とすることで、見通しが良くわかりやすい施設とします。
- ③各支援機能スペース(市エリア)と交流サロンの間に管理区画を設け、休日のホール利用にも対応できる計画とします。
- ④バックヤードは施設北側に集約配置し、サービス動線を確保しやすく、市民利用エリアと明快に分離した管理しやすい計画とします。
- ⑤会議室や相談室、印刷室等の諸室を各支援機能で共用できる合理的な計画とします。

- ①2階には主にホール・ホワイエを配置し、広場から直接アクセスできる外部階段を設置します。北側の駐車場や公園とも行き来できるデッキテラスを計画します。
- ②ホール(補助・バルコニー席含め1,000人収容可能)には、ロールバックチェアや可動式音響反射板を導入し、様々な利用形態に対応します。
- ③ホールホワイエは、屋外デッキとも視覚的に一体的に計画し、開放的で、内部の賑わいを発信する施設とします。



1階平面図

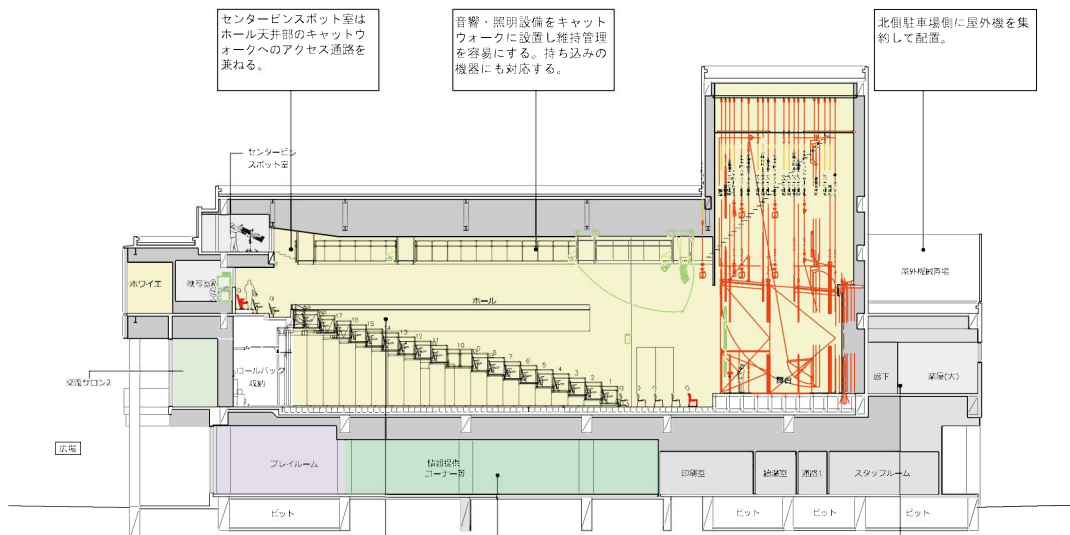


2階平面図

2. 建築計画

Ⅰ 計画のポイント

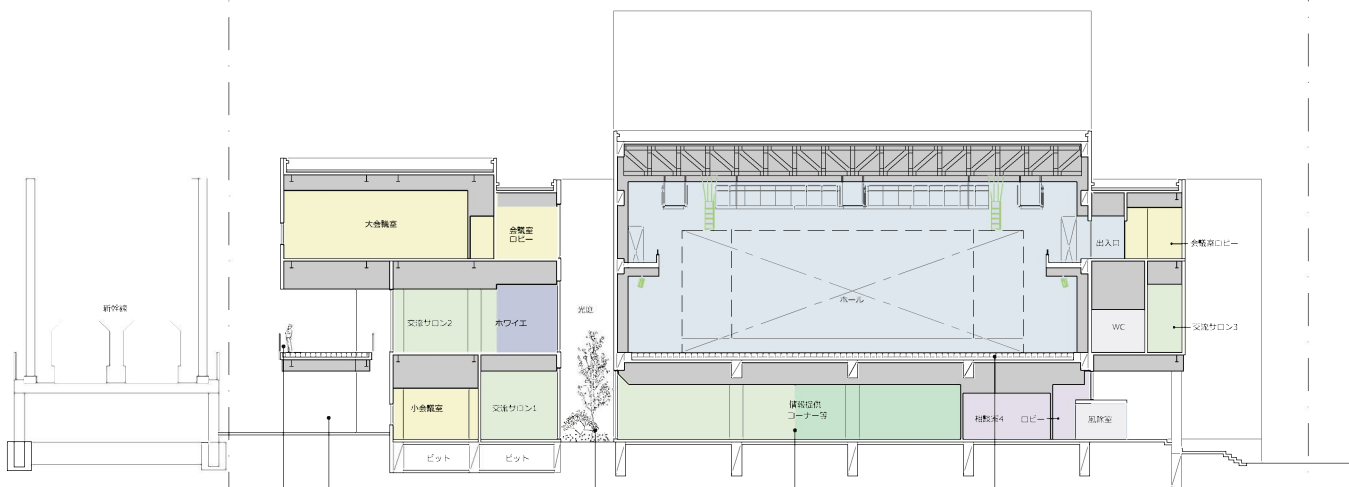
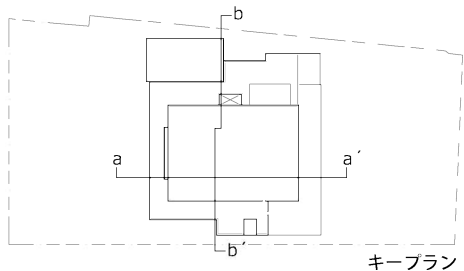
- ①1階に各支援機能、2階にホール・ホワイエ、3階を中心に各階に会議室を設置する断面構成である。
- ②必要となる天井高さや断面上の組み合わせ、構造計画により合理的な建物高さとする。
- ③敷地の高低差を利用して、ホールバックヤードの荷捌きスペースは、ガルウイングトラックを横付けできる高さを確保する。



a-a'断面図

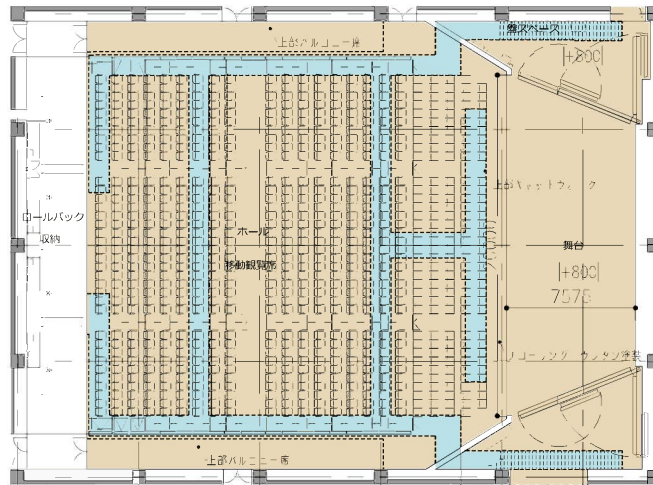
- 3階バルコニー座は、固定席168席+補助席46席計214席を確保。
- 各支援機能(市エリア)は、大きな一つの空間として家具備品で緩やかに間仕切ることで見通しが良く分かりやすい施設とする。
- 舞台裏諸室は舞台レベルと同じ高さとし、段差・スロープの無いバック動線を確保する。

- 交流支援機能
- こども支援機能
- 産業支援機能
- ホール
- ホワイエ
- 会議室
- デッキ
- その他

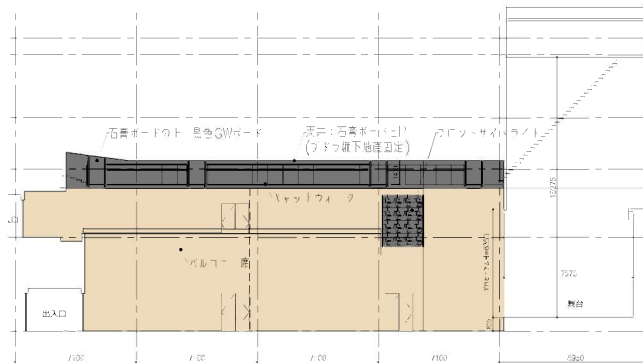


b-b'断面図

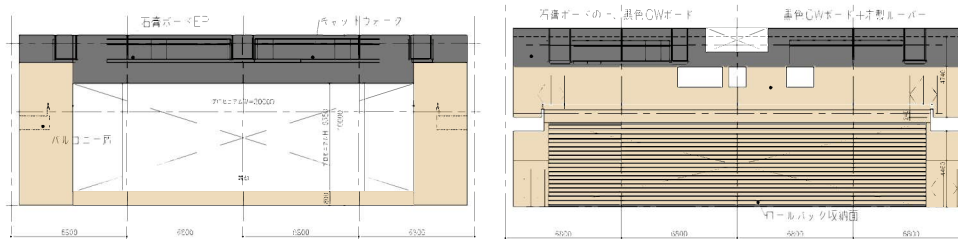
Ⅰ 計画図



2Fホール平面図(S=1/300)



ホール背面展開図(S=1/300)



ホール正面展開図(S=1/300)

ホール側面展開図(S=1/300)

Ⅱ 内装デザインコンセプト

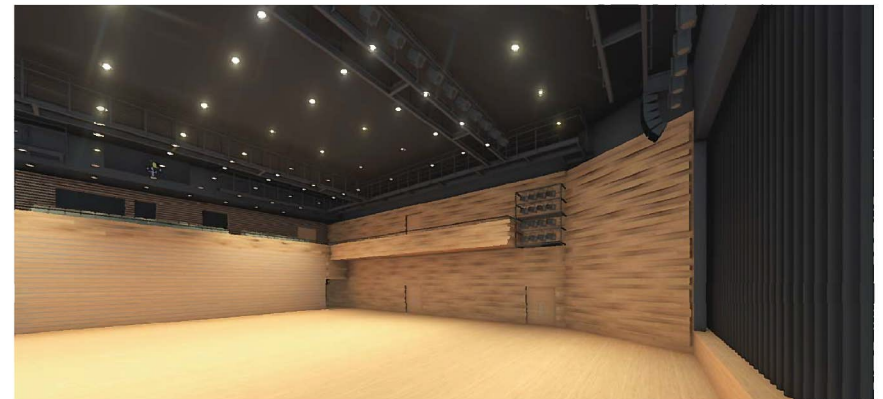
- 一川内川の水面ー
- 川内平野の中央部を悠然と蛇行する川内川の水面のゆらぎをモチーフとした案。
- 地層のように、フラットな壁と凹凸のある壁を積み重ねて、音を拡散させる効果を持たせる。
- ロールバックチェア格納時は、客席背面も一体的になるようなデザインとする。



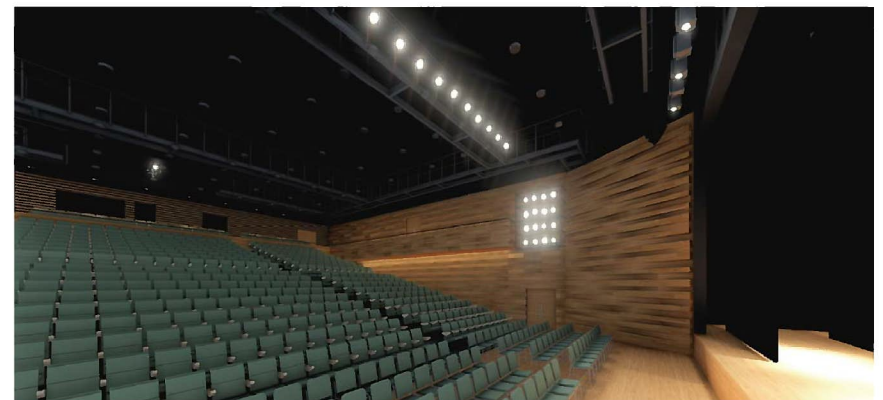
市民の生活や様々な活動を支える川内川



フラットな壁
凹凸のある壁
側壁面ディテール



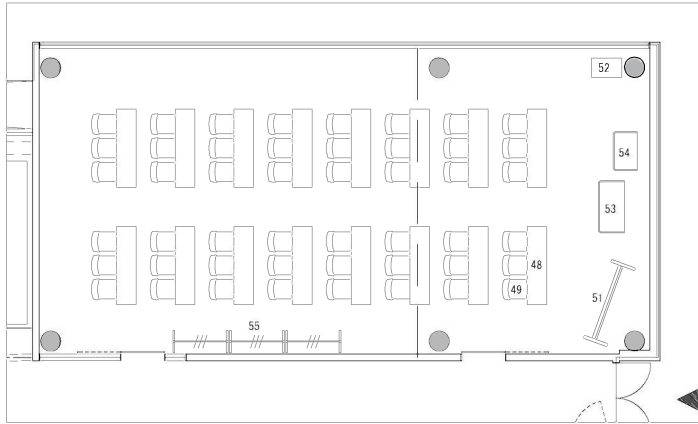
平土間時イメージ



観覧席展開時イメージ

2. 建築計画

I 2F 中会議室1

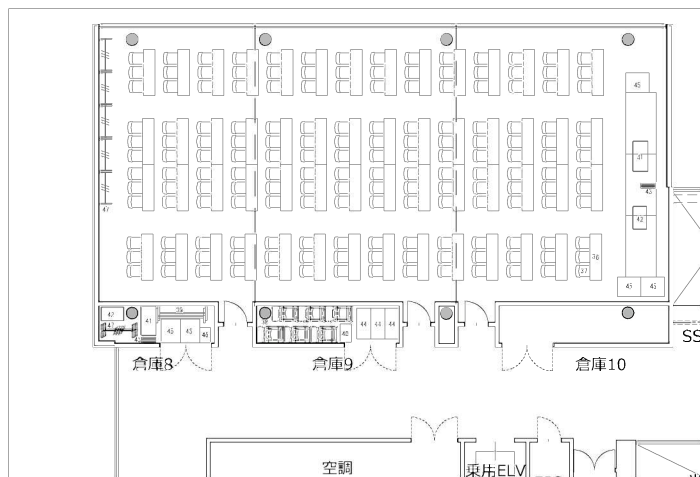


セミナー利用イメージ



リハーサル利用イメージ

I 3F 大会議室



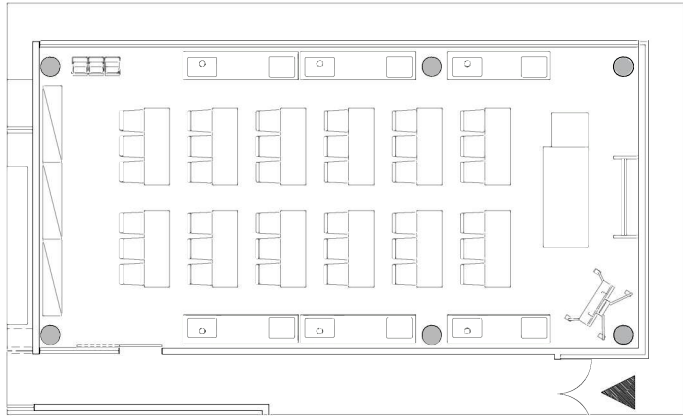
ミーティング利用イメージ



レセプション利用イメージ

2. 建築計画

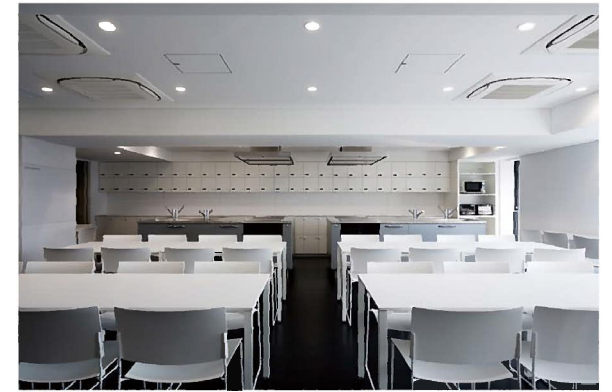
1F オープンキッチン



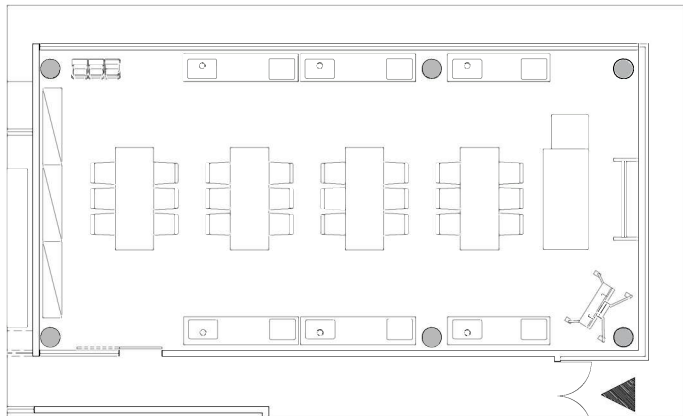
ミーティング利用パターン



ミーティング利用イメージ



ミーティング利用イメージ



料理講座・セミナー利用パターン



料理教室利用イメージ



パーティ利用イメージ